

メーカー名

EDILKAMIN

機種名

MICRON

準備するもの

養生材（床用、外装用）、内履き、掃除機（室内用、煙突用）

袋、新聞紙、雑巾、バケツ、養生テープ、ホース（ペレット吸引用）

ブラシ（煙突用φ80、TOP用細ブラシ）、ハケ、煙突パッキン、石鹼水

乾燥材、掃除用洗剤、

プラスドライバー、ライト（灯光器）、BOX7mm、10mm

作業手順

1. 外装・付属品取り外し

2. 煙筒掃除

3. 煙筒用パッキン交換

4. 側面等掃除

5. 炉内掃除

6. 外装取付

7. 掃除・片付け

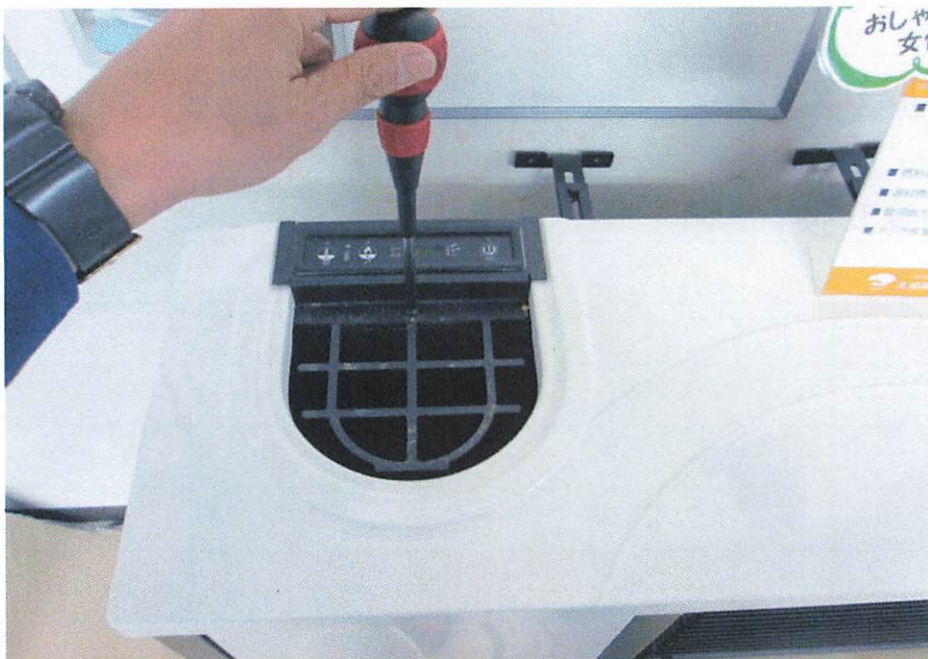


作業前



養生材を2重に敷く
養生範囲は内履きを履き
足の汚れを室内に
持ち込まない工夫をする

現場によっては
壁養生も必要



外装取り外し

工具 +ドライバー



コネクターが
繋がってるので
破損しないよう
注意して天板を
外す



外装取り外し



外装取り外し

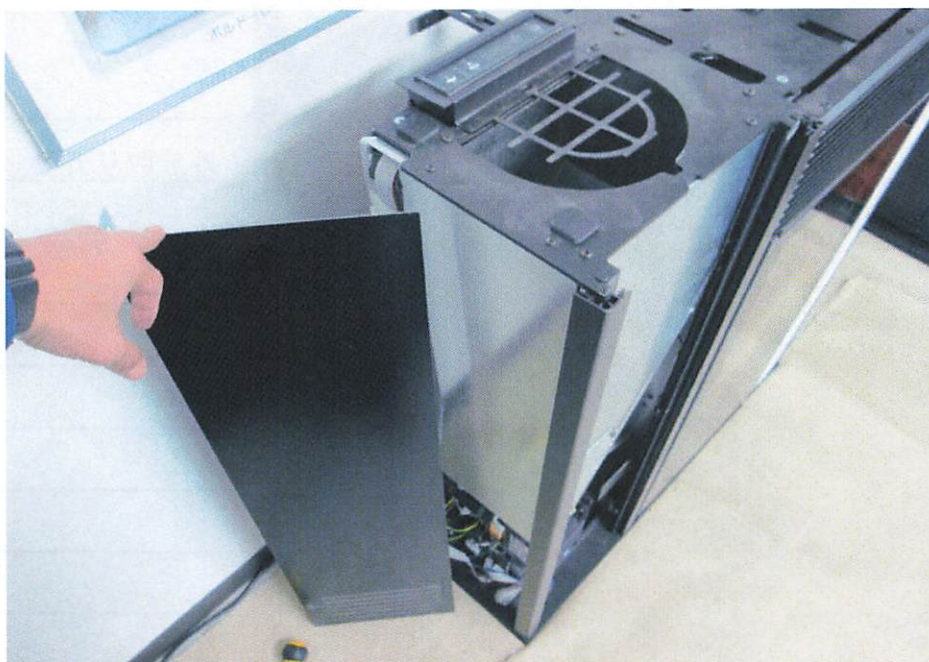


外装取り外し



外装取り外し

工具 B0X7mm



外装取り外し



外装部品は

傷つけないよう

養生材に置く



煙突取り外し

灰が落ちるので
ゆっくり外す。

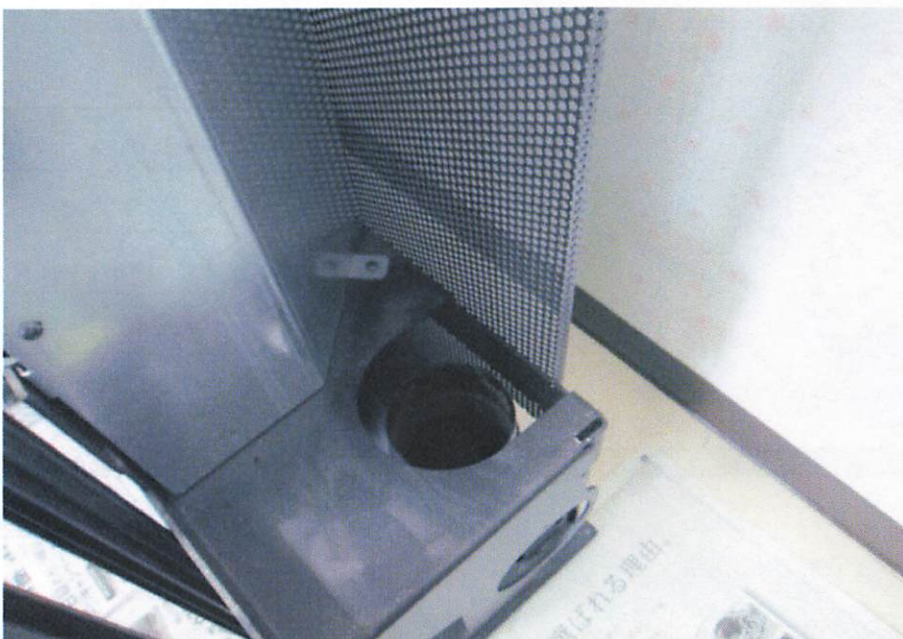
すぐに袋を被せ
室内を汚さない



煙突取り外し

直管なども
すぐに袋を被せ
室内を汚さない。

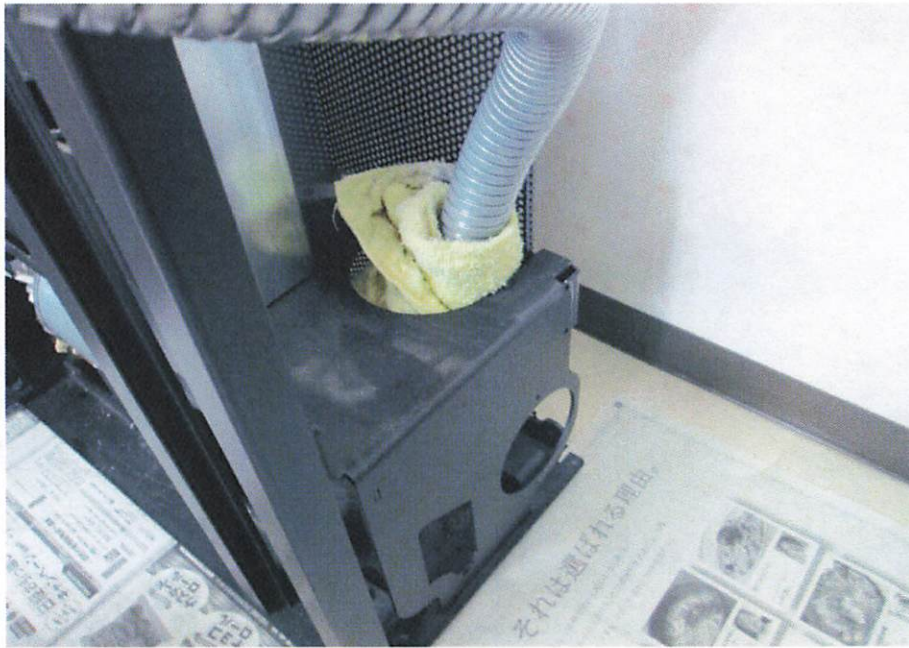
掃除は屋外で！！



煙突取り外し

ストーブ
ファン付近

基本的にはここまで
しか外さない



濡らしたタオルで
隙間を塞いで吸引
付着があれば、ブラシで
こすりながら吸引

ジョイントステンバンドの
締め具合を
チェックすること



煙突掃除
屋内側, 屋外側に
袋を被せる。袋に
小さな穴を開け、
ブラシを通す。



煙突掃除
掃除機で吸引しながら
ブラシでこする
床に養生材を敷き
煙突の保護をする。



煙突掃除

煙突のパッキンは
必ず交換すること



パッキンを裏返して
溝を内側にする。



煙突の溝に入れていく。

煙突が入りづらいので
石鹼水などを潤滑材
としてパッキンに塗り
接合する。

手が汚れるので、綿棒
などで塗ること



煙突も接合したら

掃除用洗剤を使い

排気筒の汚れを

とること



側面、前面の

ホコ리를

掃除機で吸う



炉内掃除



炉内掃除

レンガ取り外し



炉内掃除

金具取り外し

工具 + ドライバー



炉内掃除

金具取り外し

継ぎ目がもろいので

注意！！



炉内掃除

カバー取り外し

工具 +ドライバー



炉内掃除

カバー取り外し

工具 +ドライバー



外した部材は

新聞紙で包み

屋外で掃除する。





炉内掃除

掃除機で吸引しながら

プレートを動かし

熱交廻りの

灰を落とす



掃除機で吸引しながら

ハケで灰を落とす

細ブラシを使うと

綺麗に落ちます。



がasketが外れるので

接着剤で付け直す

使用接着剤

がasket接着剤



がasketが外れるので

接着剤で付け直す

使用接着剤

がasket接着剤



がasketが外れるので

接着剤で付け直す

使用接着剤

がasket接着剤



中に入ってるペレットを
掃除機で吸引。

基本的には破棄します。

掃除前にペレットを
使い切ってもらうよう
お願いして下さい。



乾燥材を置く



乾燥材を置く

屋外TOPにエンドキャップを取付けて作業は完了です。

養生材を外し、室内用掃除機などで室内掃除をお願いします。

使用したハケ、ブラシ、掃除機、養生材などはすぐに手入れをしてください。

③強風時の負圧センサーアラーム

強風時、排気トップに風が吹き付けた場合など、室内への排気逆流を防止するためアラームとなり、消火モードとなります。

対応

- ・ MICRON、POINT などレオナルドシステムの無い機種は、パラメーターで排気ファンの回転数を 200 回転上げてください。
- ・ 屋外での排気管立上げ、排気トップをドラムトップや、Hトップに変更する。
- ・ レオナルドシステム搭載機種「LOW CURRENT」の場合、「Corrente min.」の数値を下げる。または「Eventi cor.」の数値を下げる。

④負圧センサーチューブの詰まりによるアラーム

1 日の燃料使用量が多い場合や前年の掃除がされていない場合に発生。

熱交換室から負圧センサーにつながるシリコンチューブに煤が付着し、負圧センサーが働かずアラームとなる。

排気ファンが回っても炉内の負圧を感知しないのでペレットは落ちてこない。

(※ドアが開いている時と同じ状況)

対応

- ・ 熱交換室側より掃除機で吸い取る。(お客様にも説明)
 - ・ 負圧センサーからシリコンホースを外し、吹いて除去する。
- メンテナンス時にも必ず確認してください。

MICRON→



⑤給気センサーの埃によるアラーム

レオナルドシステム搭載機種に付いている給気センサーに埃が付着していて給気数値を測定できない状況。(Check Air flow)

対応

給気口よりセンサーを外し、掃除を行ってください。



⑥ 燃焼ポットのクリンカー発生事例

- ・ ホワイトペレットに比べ、全木ペレットの方がクリンカーの発生が多いと言われています。（木の外皮によるもの）

写真は、山で数年放置された原木を使用してペレットを製造したことで、リグニン成分が流れ、より多くのクリンカーが発生した状況です。

クリンカーが付着することで、燃焼ポットの給気穴をふさぎ給気不足となる為、不完全燃焼となり、燃焼が続かなくなります。



対応

- ・ EDILKAMIN のストーブは、定期的に行うクリーニングモードで排気ファンを強くし、灰を吹き飛ばす機能があります。

パラメーター数値のクリーニングモードの間隔を短くする、クリーニング時間を長くするなど多少の調整はできますが、長時間使用する場合は、途中で消火し掃除することをお勧めします。

⑦ メンテナンスを促すメッセージ

BRIO、LOGO には、ユーザーに定期的なクリーニングを促す「SERVICE??」のメッセージが表示されます。

パラメーター「Servis UTE」に設定された燃料消費量（800kg）を超えた場合にお知らせします。熱交換パイプや熱交換室の掃除を行ってください。

クリーニング後、 ボタンを5秒長押しでリセットされます。

BRIO、LOGO、MYA には、業者によるメンテナンスを促す「Maintenance」のメッセージが表示されます。

パラメーター「Servis CAT」に設定された燃料消費量（2000kg）を超えた場合にお知らせします。※表示が出ていても運転は可能です。

排気管、燃焼炉、熱交換室などシーズンメンテナンスを行ってください。

パラメーター「Code CLR Time」にて「31」を選択しリセットします。

※シーズンオフのメンテナンス時に必ずリセットをしてください。

⑧排気トップと給気口が近すぎた為の不具合事例

- ・ペレットストーブ設置推奨基準（ペレットクラブ様）では、排気トップと給気口との離隔距離を最低 1m 以上離すこととなっています。
特に上下縦位置で設置する場合は近すぎると高温の燃焼排気を給気する為、危険です。写真の事例では、高温の排気を給気するショートサーキットが発生して、炉内温度が異常高温になっての不具合が発生しました。
また、燃焼排気を給気することで、酸素不足による不完全燃焼も心配されます。

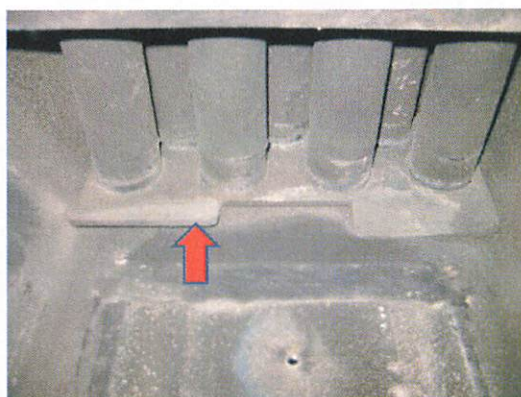
対応

- ・排気管は可能な限り 2m 以上立上げ、給排気口の離隔距離は 1m 以上離してください。また、排気トップ付近の植栽や可燃物の有無を確認して、2m 程度の離隔確保をお薦めします。



⑨熱交換パイプの掃除不足による不具合事例

- ・POINT、MICRON などの熱交換パイプは燃焼効率を維持するために概ね一週間に一度程度の掃除が必要です。灰・煤がたまり過ぎたまま放置すると、熱交換できずに勿体無いばかりか、熱交換しないまま排気することで排気温度が上がり過ぎてアラームが発生することがあります。
写真は当社で撮影したのですが、長期間掃除せずにつかった為、アラーム（AL2：排気温度センサー異常）が発生した事例がありました。



対応

- ・取扱説明書（「一週間に一度のメンテナンス」の項）を参照し、必ず定期的な掃除を行ってください。また、取扱説明時には設置店からユーザー様に必ず説明を行ってください。

メーカー名
機種名

EDILKAMIN
POINT

準備するもの

養生材（床用、外装用）、内履き、掃除機（室内用、煙突用）
袋、新聞紙、雑巾、バケツ、養生テープ、ホース（ペレット吸引用）
ブラシ（煙突用φ80、TOP用細ブラシ）、ハケ、煙突パッキン、石鹼水
乾燥材、掃除用洗剤、
プラスドライバー、ライト（灯光器）

作業手順

1. 外装・付属品取り外し
2. 煙筒掃除
3. 煙筒用パッキン交換
4. 側面等掃除
5. 炉内掃除
6. 外装取付
7. 掃除・片付け



作業前



養生材を2重に敷く

養生範囲は内履きを履き

足の汚れを室内に

持ち込まない工夫をする

現場によっては

壁養生も必要



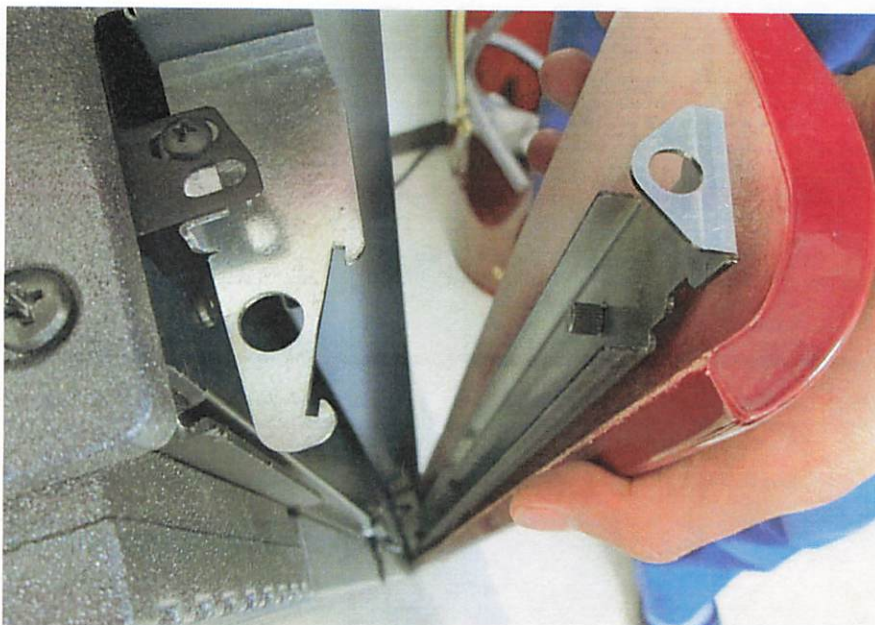
外装取り外し

工具不要



外装取り外し

工具不要



外装取り外し

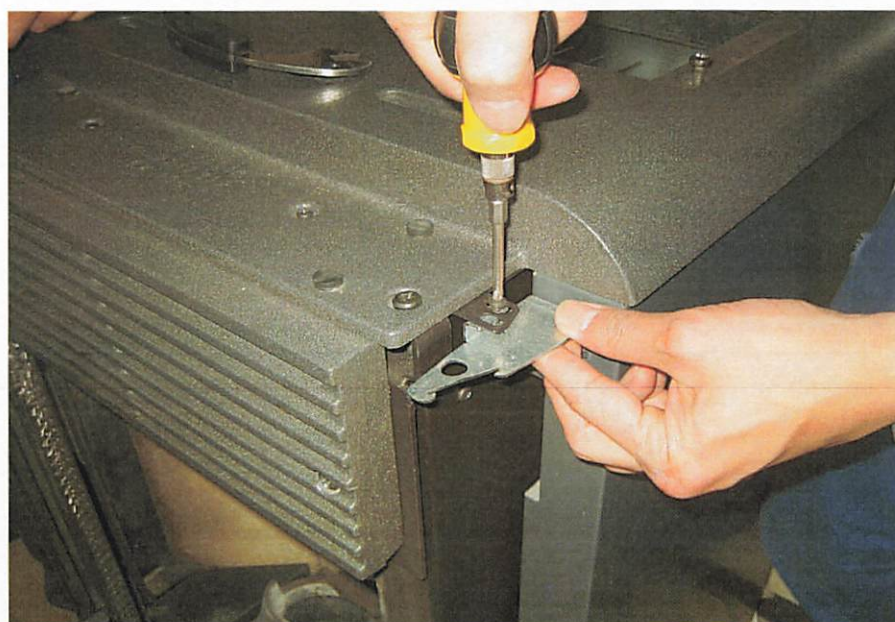
ツメで固定してるので

持ち上げながら外す



外装取り外し

工具 +ドライバー



外装取り外し

工具 +ドライバー



外装取り外し

工具 +ドライバー



外装取り外し

工具 +ドライバー



外装部品は

傷つけないよう

養生材に置く

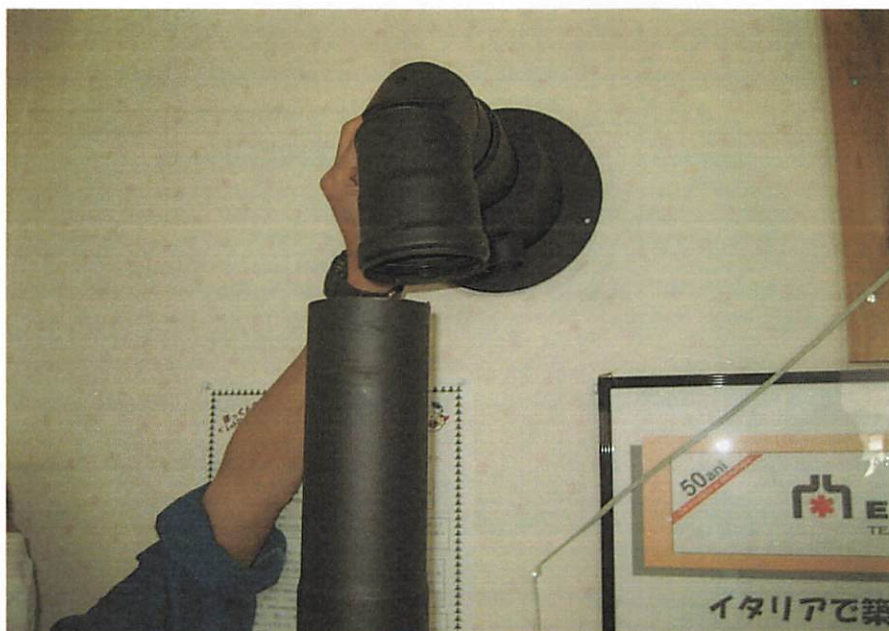


スペースが狭い場合

養生材を使い

重ねていく

重量を配慮すること



煙突取り外し

灰が落ちるので

ゆっくり外す。



煙突取り外し

すぐに袋を被せ

室内を汚さない



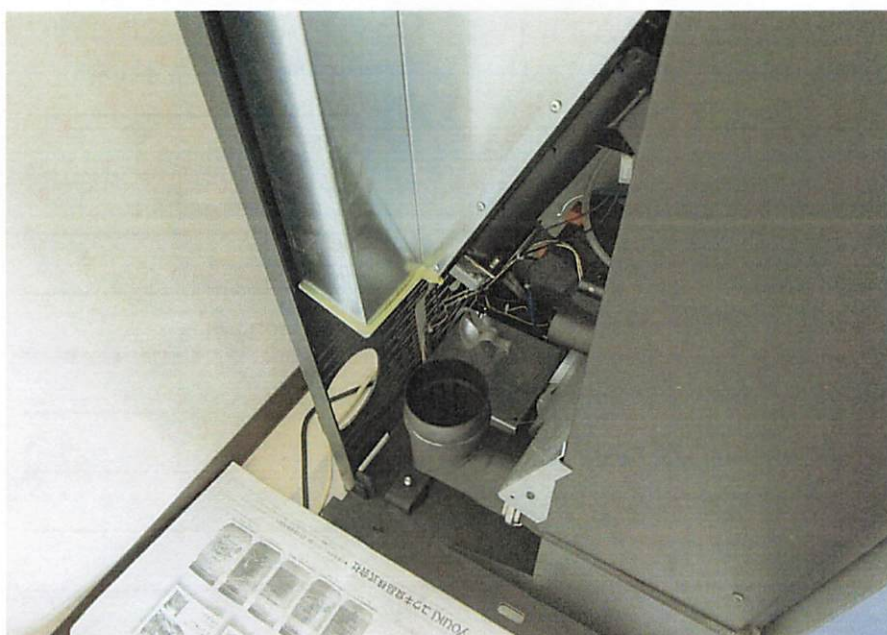
煙突取り外し

直管なども

すぐに袋を被せ

室内を汚さない。

掃除は屋外で！！



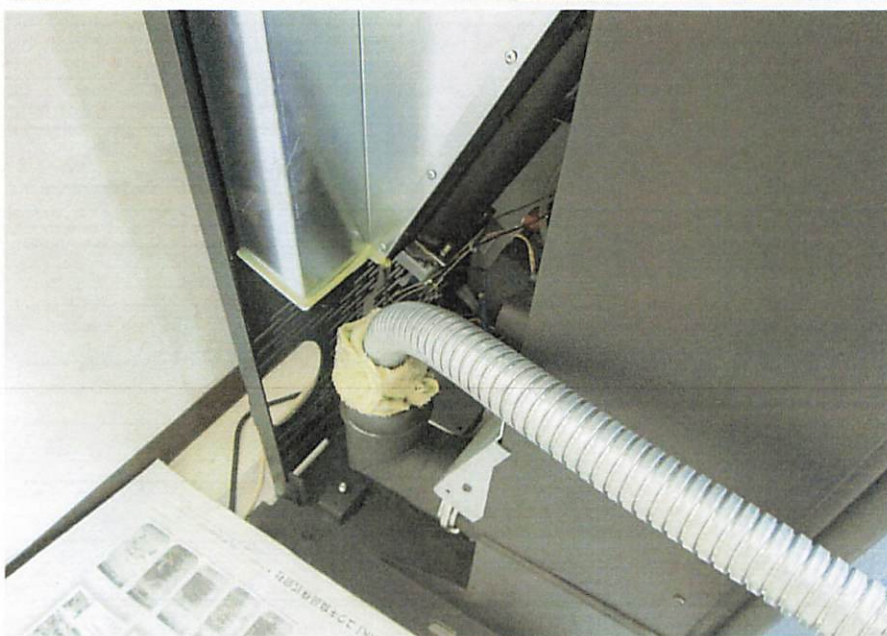
煙突取り外し

ストーブ

ファン付近

基本的にはここまで

しか外さない



濡らしたタオルで

隙間を塞いで吸引

付着があれば、ブラシで

こすりながら吸引

ジョイントステンバンドの

締め具合を

チェックすること



煙突掃除

屋内側、屋外側に
袋を被せる。袋に
小さな穴を開け、
ブラシを通す。



煙突掃除

掃除機で吸引しながら
ブラシでこする

床に養生材を敷き
煙突の保護をする。



煙突掃除

煙突のパッキンは
必ず交換すること



パッキンを裏返して
溝を内側にする。



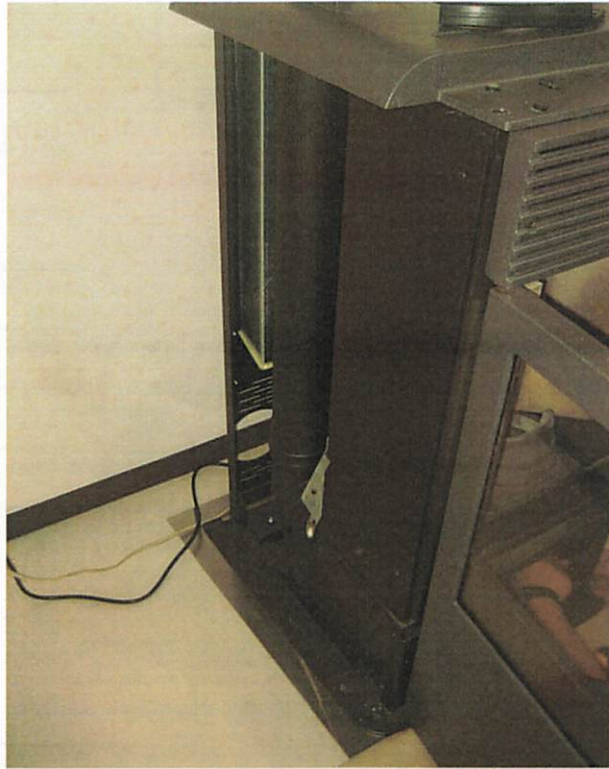
煙突の溝に入れていく。

煙突が入りづらいので
石鹼水などを潤滑材
としてパッキンに塗り
接合する。

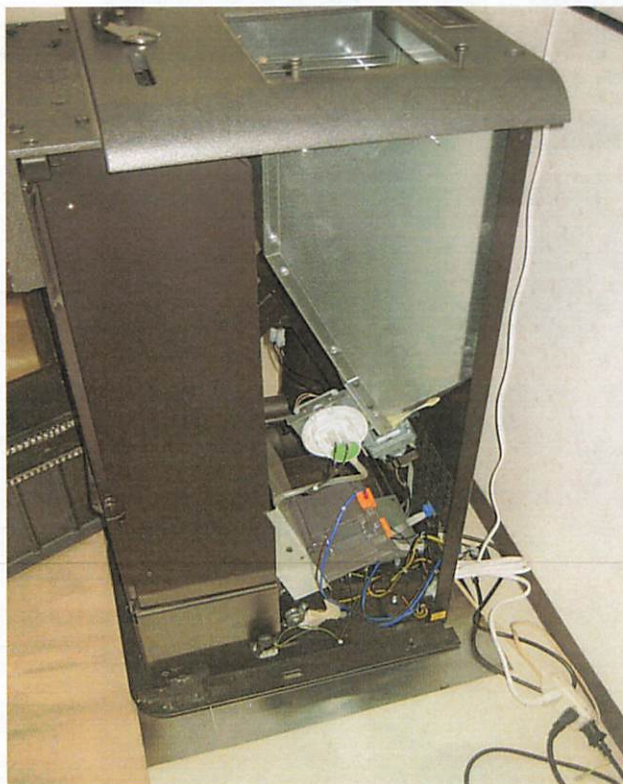
手が汚れるので、綿棒
などで塗ること



煙突も接合したら
掃除用洗剤を使い
排気筒の汚れを
とること



側面側のホコリを
掃除機で吸う



側面側のホコリを
掃除機で吸う



炉内掃除



炉内掃除

レンガ取り外し

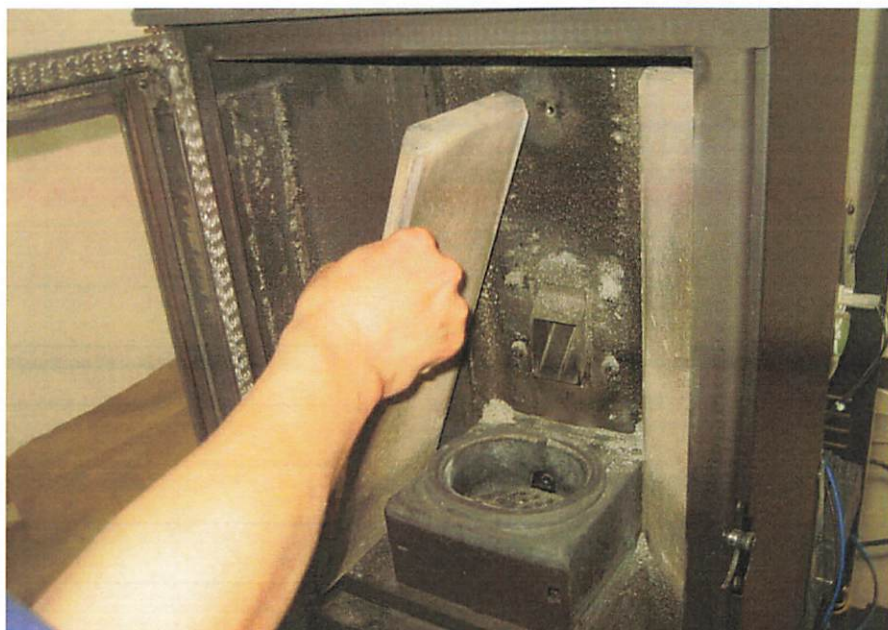
工具 +ドライバー



炉内掃除

レンガ取り外し

工具 +ドライバー



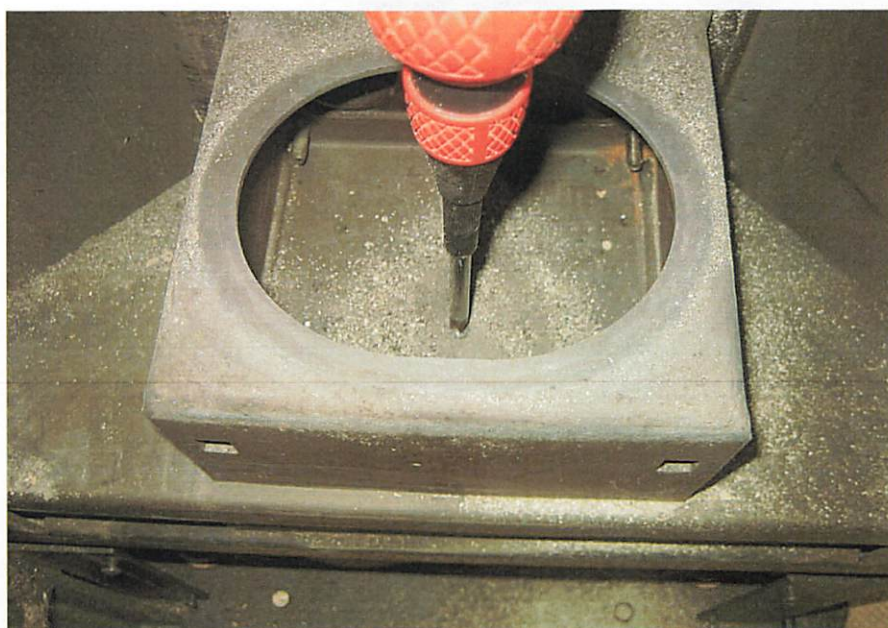
炉内掃除

レンガ取り外し



炉内掃除

カバー取り外し



炉内掃除

カバー取り外し

工具 +ドライバー



炉内掃除

カバー取り外し



外した部材は

新聞紙で包み

屋外で掃除する。



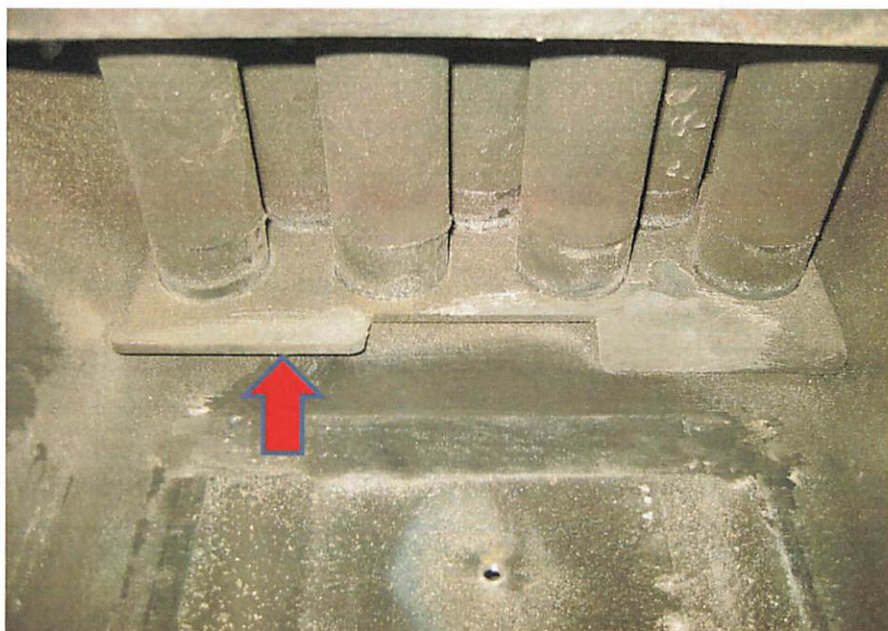
外した部材は

新聞紙で包み

屋外で掃除する。

レンガはブラシで

こすること



炉内掃除

熱交換器 付近

※矢印はプレート



掃除機で吸引しながら

プレートを動かし

熱交廻りの灰を

落とす



掃除機で吸引しながら

ハケで灰を落とす

レンガはブラシで

こすること



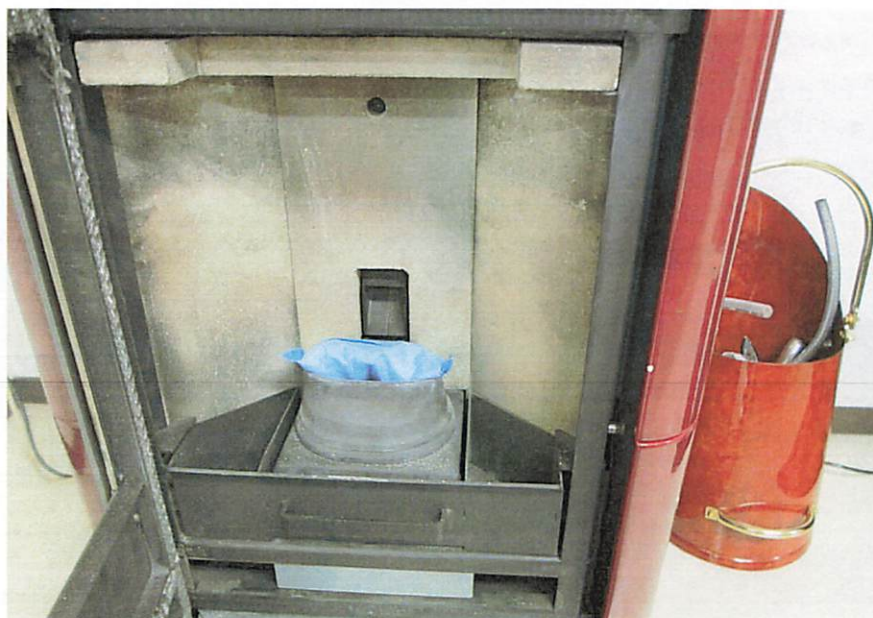
中に入ってるペレットを
掃除機で吸引。

基本的には破棄します。

掃除前にペレットを
使い切ってもらうよう
お願いして下さい。



乾燥材を置く



乾燥材を置く